

検査は無料・匿名で 受けることができます

いつ
受ける？

感染のおそれのあった日から3か月以上経過して
から受けてください。

陽性は、通常1か月後からわかりますが、陰性を
正確に判断できるのは、3か月後です。

どこで
受ける？

全国の保健所で受けられます。

ここから検索 HIV検査相談マップ▶
<https://www.hivkensa.com/>



① 予約



電話やインターネットで予約します。

② 検査



血液検査とカウンセリングを行います。

③ 結果



通常検査では、約1～2週間後*に本人が検査機関に
結果を聞きに行きます。
陽性だったときはカウンセリングを受け、医療機関に
つないでもらうことができます。

*結果が当日に出る即日検査や、郵送検査を行っている自治体もあります。各自治体のホーム
ページなどで確認しましょう。

相談窓口

不安なことがあれば、
一人で悩まずに相談してください。

■ エイズ予防情報ネット API-Net

[https://api-net.jfap.or.jp/
inspection/tel.html](https://api-net.jfap.or.jp/inspection/tel.html)



電話相談 月～金(祝日、年末年始除く)
10～13時、14～17時

フリーダイヤル▶ **0120-177-812**

携帯電話から▶ **03-5259-1815**(有料)

■ HIV検査相談マップ

電話・LINE相談窓口

[https://www.hivkensa.com/
soudan/tell](https://www.hivkensa.com/soudan/tell)



HIV感染の有無を確実に知る方
法はHIV検査だけです。

発見が早ければ早いほど、今と
変わらない生活を続けられる確率
が高くなります。



注意! 梅毒の感染が拡大しています!

梅毒とは、梅毒トレポネーマという細菌に感染すること
で起こる、性感染症のひとつです。感染力が強く、キスだ
けでも感染するおそれがあります。

近年、梅毒は20代の女性、20～40代の男性を中心に感
染が拡大しています。

梅毒にかかった妊婦から胎児に感染する「先天梅毒」も
広がっています。

梅毒は、早期に抗菌薬で治療することで完治
が可能です。

「自分は大丈夫」と思わず、気になる症状があっ
たらパートナーと一緒に検査を受けてください。



出典：厚生労働省「性感染症報告数」

知ることから始めよう

HIV・エイズ 本当のこと

〈監修〉岡 慎一 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 名誉センター長

予防できる!

治療が進歩!

スマホやタブレットで読めます。デジタルブック



○文字サイズ拡大、自動音声読み上げ
○5つの言語で読める・聞ける(音声読み上げ対応)
【Automatic Translation】英語(English)、
中国語(簡体字(简体中文)・繁体字(繁體中文))、韓国語(한국)



まずは知っておいてください
こんなことではうつりません!



電車のつり革



お風呂、プール



せき、くしゃみ、汗、涙



洋式トイレの便座



握手、軽いキス



同じ皿の料理を食べる、
同じ飲み物を回し飲みする



同じ職場や学校で
生活する

レッドリボンは、HIVやエイズに対する理解と支援のシンボルです。

須賀川市国民健康保険

HIV・エイズの基礎知識

HIV =

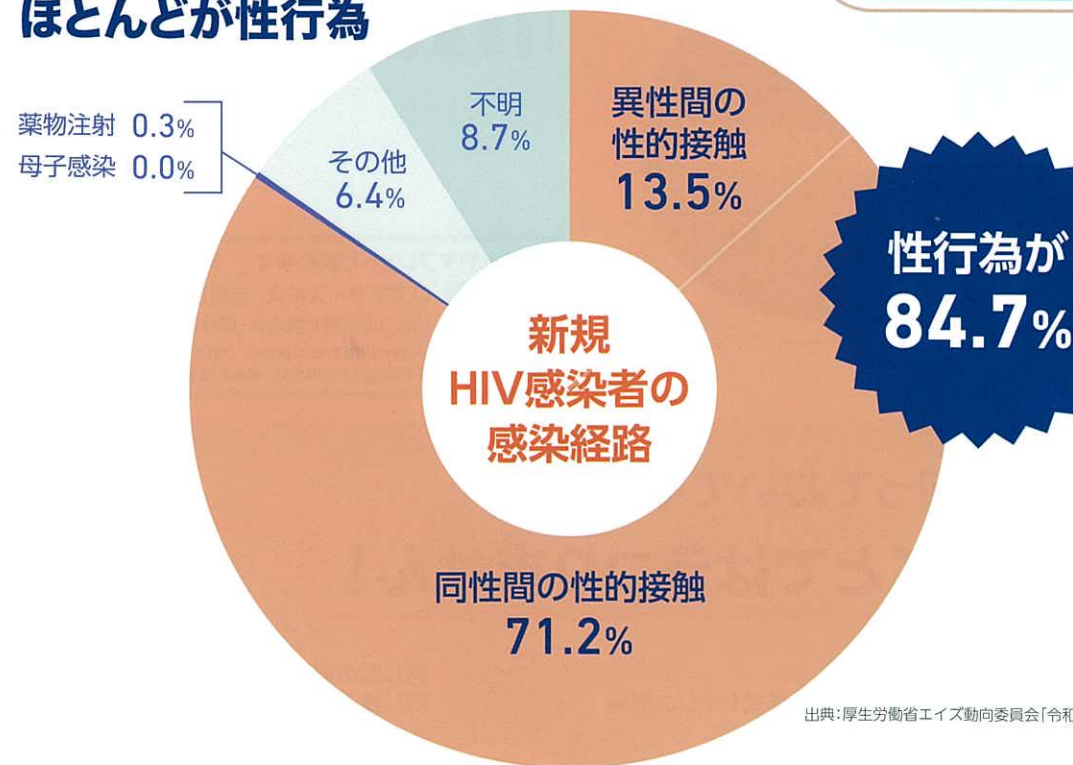
Human Immunodeficiency Virus
(ヒト免疫不全ウイルス)
エイズを引き起こすウイルスのこと。

エイズ =

HIV感染後、免疫力の低下によってさまざまな病気*を発症した状態のこと。

*エイズ診断の指標となる23種類の疾患があります(カンジダ症、ニューモシスチス肺炎など)

新規感染ルートは ほとんどが性行為



出典:厚生労働省エイズ動向委員会「令和5(2023)年エイズ発生動向年報」

知ってください HIV・エイズの今

エイズは不治の病では なくなっています

たとえHIVに感染しても、早く治療を始めれば、HIVの増殖を抑え、エイズを発症することはありません。

治療

1日1回1錠の抗HIV薬が普及しています。
2か月に1回の注射で治療することも可能です。

適切な治療を受けることでこれまでと同じ生活を送ることができます。

治療を受けていれば パートナーにうつしません

適切な治療を受け、血液中のHIVの量を検出限界未満まで抑えることができていると、性行為をしても相手に感染させることがなくなります。

U=U:
Undetectable=Untransmittable



「いきなりエイズ」が 増えています

2023年に検査を受けて新たにHIV感染がわかった人は960人。このうちの約3割が、検査を受けた段階ですでにエイズを発症している「いきなりエイズ」でした。

HIVに感染すると……

HIV感染

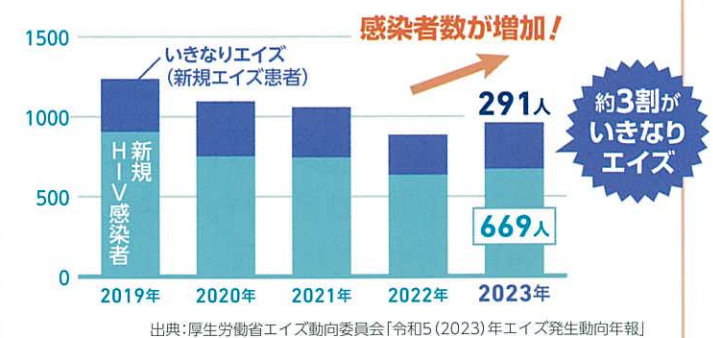
症状がない期間(数年～10年)

感染に気づかないでいると、この期間に性行為のパートナーへの感染リスクがあります。

エイズ発症

感染に気づかず、この時点で初めてHIV感染を知る「いきなりエイズ」が増えています。

新規HIV感染者数の推移



エイズを発症してしまった段階では、発症前よりも治療が難しくなります。
気になることがあったら、早めに検査を受けてください。

検査については裏面をチェック➡

ただし、予防は忘れずに

HIVに感染するおそれは誰にでもあります。

HIVは、精液や膺分泌液、血液などに含まれ、性器や肛門、傷口から感染します。

感染リスクが高い性行為

コンドームをしない
出血をともなう
不特定多数との性行為

予防のためには、挿入前からコンドームを着用することが大切。オーラルセックス、アナルセックスでも必ず着用しましょう。ほかの性感染症予防にも有効です。

コンドームの正しい使い方

- ① 中身を傷つけないように開封し、表裏を確認。
- ② 先端の精液だまりの空気を抜き、根元までかぶせる。
- ③ 射精後は精液がこぼれないように外し、口をしばって捨てる。

コラム

最新の予防法 PrEP(プレップ)

PrEP(Pre-exposure prophylaxis: 暴露前予防)とは、HIVに感染していない高リスクの人が、抗HIV薬を予防的に内服することです。

1日1回1錠、忘れずに継続して服用することで、HIV感染を99%以上予防できるといわれています。日本では2024年8月、薬事承認されました。

対象 HIVに感染していない、感染リスクの高い性交渉を行う成人

PrEPの注意点

- *PrEPを始める前には、HIVの抗原・抗体検査で「陰性」の確認が必要です。
必ず、クリニック等で検査と処方セットを受けてください。
- *PrEP開始後も、継続してHIV感染の有無や腎機能低下などの副作用が起こっていないか、定期的な検査を受ける必要があります。
- *予防薬のため、健康保険は適用されません。

PrEPについて詳しくはこちら

■ PrEP in JAPAN

<https://prep.ptokyo.org/>

